

## プレスリリース

### ベトナム国ラムドン省ダラット高原で花卉栽培技術高度化にかかる調査を開始

2020年3月30日  
オグラ金属株式会社

当社は、JICA（国際協力機構）の中小企業・SDGs ビジネス支援事業に採択され、このたびベトナム中部のラムドン省ダラット高原にて、発光ダイオード（LED）電照機器を使った「ダラット高原花卉栽培技術高度化にかかる案件化調査」を開始いたしました<sup>1</sup>。

ベトナムは農業輸出大国で、コーヒーは世界2位（2018年、FAOSTAT）、コメは世界3位（2018年、FAOSTAT）など多くの農産物を輸出し、花卉の輸出も急増しています。ベトナム政府は「High tech agriculture」を農業政策のひとつと位置づけ、農業の高付加価値化を進めています。ラムドン省は花卉栽培が盛んですが、栽培技術の高度化による商品価値の向上が大きな課題となっています。

当社は2009年より栃木県農業試験場と「新たな省エネ光源（LED）を利用した花卉電照技術の確立」をテーマとする共同研究を行い、花卉の出荷調整等に効果的なLED電照システムを開発しました。当社LED電照技術の強みは、単に消費電力を減らすだけでなく、キクの花芽分化抑制に効果のある特定の波長を最適かつ均一な照射を可能とすることで、すでに栃木県内の農家や農業法人、大学などで実用化されています。

本調査は2020年2月から1年間かけて実施し、ベトナムの官民と協力して試験栽培を行い、日本と環境の異なるベトナムでも花卉の生育制御や均一化が可能であることを調査し、ビジネス展開に向けた具体的な検討を進めます。

調査終了後は、当社製品のベトナムでの販売を開始し、国連の定めるSDGsゴール<sup>2</sup>のうち、以下の3つゴールへの貢献を目指します。

- ⑦エネルギー：LED照明の導入・普及により消費電力を削減する。
- ⑧経済成長・雇用：高付加価値農産物の生産およびコスト低減により農家の収益を向上させる。
- ⑨インフラ・産業：植物生育特性に合わせた特定波長のLED電照新技術及び将来的なロボット・AI技術の導入も想定することで、ベトナム国ラムドン省政府が推進する「スマート農業」の実現に貢献する。

---

<sup>1</sup> 2019年4月にJICA（独立行政法人国際協力機構）が募集した中小企業・SDGsビジネス支援事業－案件化調査－に応募、採択され、契約交渉を経て、2020年2月20日付で業務委託契約を締結いたしました。

<sup>2</sup> 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

## オグラ金属について

1. 提案法人名	オグラ金属株式会社
2. 代表法人の業種	①製造業
3. 代表法人の代表者名	小倉 勝興
4. 代表法人の本店所在地	栃木県足利市川崎町 1310 番地
5. 代表法人の設立年月日（西暦）	1938年11月6日
6. 代表法人の資本金	9,900万円
7. 代表法人の従業員数	320名（2019年3月末時点）

## 案件概要



### ベトナム国ダラット高原花卉栽培技術高度化に かかる案件化調査

オグラ金属株式会社（栃木県足利市）

7  
エスエフ-エスエス  
エスエフエスエス

8  
働きがいも  
経済成長も

### ベトナム国農業分野における開発ニーズ（課題）

国際競争力強化を通じた持続的成長

- 農業分野の高度人材の育成
- 競争力強化のため農産品の高付加価値化
- 所得向上による農村部の持続的な経済振興

### 提案製品・技術

- 花卉生育に最適な波長をもつLED電照ユニット
- LED電照による花芽抑制技術
- LED電照の配列・制御による消費電力最小化

### 本事業の内容

- 契約期間：2020年2月～2021年2月
- 対象国・地域：ベトナム国ラムドン省ダラット市
- カウンターパート機関：ベトナム国ラムドン省人民委員会、ラムドン省農業農村開発局、国立ポテト野菜花卉研究所
- 案件概要：LED制御技術と栽培技術のショーケースを設立し、市場が求める品質と出荷時期に基づく高付加価値栽培技術を実証する。実証した技術を普及指導プログラムにまとめ、ラムドン省政府と共同で花卉農家への普及活動を実施し、政府に普及指導プログラムを引き継ぐ。



SAISOU® LEDライト&サービス  
植物の日本品質とお客様の喜び創造します

### 開発ニーズ（課題）へのアプローチ方法（ビジネスモデル）

#### 第1段階

ラムドン省にて、既存ハウスの蛍光灯からLED電照への更新、及び新規ハウス建設時のLED電照の導入。省内キク生産面積3,000haのうち、輸出相当分（約20%、600ha、LED電照60万本）の販売を想定。

#### 第2段階

ベトナム国内の他地域、マレーシアやミャンマーなど近隣国への販売展開

### 対象国に対し見込まれる成果（開発効果）

- ラムドン省政府農業普及員及び花卉農家/法人に高付加価値栽培の指導技術が移転される。
- LED製品と高付加価値栽培技術が導入された農家の秀品率が向上する。
- 市場トレンドに基づく出荷時期が最適化される。
- LED製品と高付加価値栽培技術を導入した農家の収益性が向上する。

2020年2月現在



2020.03.02 ラムドン省人民委員会